

● 論文特集「エキスパートシステム」論文募集のお知らせ ●

人工知能学会会誌編集委員会

エキスパートシステムの研究開発は、ケーススタディの段階を卒業し、実用化の段階に入ったといわれています。しかし、現実のエキスパートシステムの研究開発においては、まだ多分に試行錯誤的な側面が多く、技術的および方法論的にも研究の一層の進展が要請されているのが現状とみられます。それには、エキスパートシステム開発の経験から得られた知見を、原理、技術、方法論などにまとめるボトムアップ的アプローチ、ならびに人工知能の基礎・理論研究で得られた成果をエキスパートシステムの中で利用できるように、技術的に精緻化するトップダウン的アプローチの両方の有機的展開が必要と思われます。このような現状認識に基づき、本会誌では「エキスパートシステム」の論文特集を企画するはこびになりました。エキスパートシステムの研究開発に関心のある技術者・研究者から数多くの興味ある論文が投稿されることを期待しております。

◇公募論文の範囲

エキスパートシステムの開発を通じて得られた種々の創意工夫、およびエキスパートシステム構築の基盤を与える手法・技法や方法論に関する内容をもつ論文を広く募集します。例えば、次のような内容の論文はその一例です。

<応用>

- ・エキスパートシステムの新しい応用領域の開拓
- ・既存データベースや実システムとの接続に関する諸問題の解決

<手法・技法>

- ・知識の整理・獲得支援、知識ベースの管理・拡張に関する手法・技法
- ・エキスパートシステムにおける問題解決過程の高機能化、高性能化

<方法論>

- ・エキスパートシステム開発過程のシステム化
- ・エキスパートシステム構築（特に計画設計型問題）の方法論やそのツール化

◇公募の締切

1989年6月末日必着

◇応募の方法

「人工知能学会誌原稿執筆案内」(Vol. 3, No. 5に掲載)に従うものとします。ただし、原稿第1ページの右上に「エキスパートシステム特集応募原稿」と明記して下さい。

◇採録の決定

1989年9月末日までに査読を終了し、結果を投稿者に通知します。

◇掲載時期

Vol. 5, No. 2 (1990年3月)掲載予定

● 1989年度全国大会(第3回)のお知らせ ●

1989年度全国大会(第3回)を下記のとおり開催いたします。プログラムができ次第、ご案内をお送りいたします。奮ってご参加下さい。

開催期日 1989年7月24日(月)~26日(水)

開催場所 学習院大学・記念会館ほか(東京・目白)

構成 特別講演, 招待講演, 募集による一般講演, パネルディスカッションおよびチュートリアル講演

● 研究会のお知らせ ●

《6月度研究会開催のお知らせ》

◎人工知能基礎論研究会(SIG-FAI)

<主査:有川節夫, 幹事:後藤滋樹, 佐藤泰介, 原口 誠>

日時 1989年6月27日(火)9時30分~17時

場所 東京大学生産技術研究所第1会議室(東京・六本木)

〒106 東京都港区六本木7-22-1 Tel 03-402-6231 《添付の案内図参照》

《プログラム》

<9:30~10:10> 高度問題解決と表現手法

吉川 成人(エスシーシー)

対象モデルなどを表現する手法として考えた手法を発展させた高度問題解決のための手法ゼロモアエクステンドについて説明する。

<10:10~10:50> Feedforward Networks の局所エネルギー関数による表現と学習

山崎 真見, 元田 浩(日立製作所基礎研究所)

Feedforward Networks の逆伝ぱん学習を, 局所エネルギー関数で記述すると, Hopfield Network などと同様な並列性が回復することを示す。

<10:50~11:30> 代数学的手法に基づく幾何学的概念の推論

○伊庭 斉志, 井上 博允(東京大学工学部)

代数学的手法に基づいて実現した幾何学的推論システムと, そのシステムの画像理解・軌跡問題などへの応用について述べる。

<11:30~12:10> 順序を記述する論理の完全性について

米崎 直樹, ○友石 正彦(東京工業大学工学部)

順序関係を記述する様相論理の新たな公理系とそれに基づく分解証明法の完全性について証明を行った。

<12:10~13:20> 昼休み

<13:20~14:00> EFS による言語の帰納推論

有川 節夫(九州大学理学部), 篠原 武(九州工業大学情報工学部), 山本 章博(九州大学総合理工学研究科)

言語の帰納推論の統一的枠組として EFS を考え, 論理プログラムとの関係, 言語理論的性質, 帰納推論の方式について考察する.

<14:00~14:40> On Learning Elementary Formal Systems

榊原 康文(富士通国際情報社会科学研究所)

文脈依存言語の学習問題のために Smullyan の形式的体系を制限したあるクラスを導入し, それを効率良く学習するアルゴリズムを示す.

<14:40~15:20> GLP の理論 (V)

赤間 清(北海道大学文学部)

GLP (generalized logic program) の理論の基礎の一つとして, 準同型写像や準同型定理などについて論じる.

<15:20~15:40> 休憩

<15:40~16:20> 非再帰的な述語サーカムスクリプションの一階論理式への等価変換

岩沼 宏治(山形大学工学部), 原尾 政輝(九州工業大学情報)

点別サーカムスクリプションを再考察し, 非再帰的な述語サーカムスクリプションの一階論理式への等価変換手法を与える.

<16:20~17:00> エージェント系におけるデフォルト論理

○外山 勝彦, 稲垣 康善(名古屋大学工学部)

複数エージェントの間にコミュニケーションがある場合に各エージェントが得る知識をデフォルト論理を拡張して形式化する.

◎ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会 (SIG-HICG)

<主査: 諏訪 基, 幹事: 安西祐一郎, 石川 真澄>

共 催 計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会

<主査: 山田 尚勇, 幹事: 廣瀬 通孝>

日 時 1989年5月29日(月)10時~16時

場 所 東京大学山上会館会議室(東京・本郷)

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 Tel 03-818-3008 《添付の案内図参照》

《プログラム》

<10:00~12:00>

◇反復記入手書きひらがなの筆者識別—目視と計算機との比較—

野沢 繁之, 竹下 鉄夫, 掛布 英辰(豊田工業高等専門学校)

10人の筆記者による手書きひらがな10字種について, 目視による筆者識別実験を実施, 計算機による識別結果とを比較検討した.

◇指文字を例にした手振り認識実験について

高橋 友一, 小林 幸雄(ATR 通信システム研究所)

手振り理解の一例として, 片手だけで実現される指文字をとりあげ Data Glove™

を用いた認識実験結果について述べる。

◇3次元モデルを用いた表情の合成と顔形状の変形

原島 博(東京大学工学部), 崔 昌石, 武部 幹(金沢大学工学部)
顔の3次元モデルを用いて, 表情変形規則および典型的な表情間の中割りに
より, コンピュータによるさまざまな表情の合成を行う。

<12:00~13:00> 昼休み

<13:00~14:20>

◇状態機械の構造類推過程の構成論的研究

石井 威望, 廣瀬 通孝, 広田 光一(東京大学工学部)
状態機械の理解を例題として, その際生じる人間の知的過程を明らかにし,
さらにその知見を具体的インタフェース設計に応用する。

◇自由連想と遠隔性連想に基づく意味常識和と深い知識との関係

馬場 雄二(室蘭工業大学心理学研究室)
遠隔性連想検査の難問のデータ階層・知識階層と自由連想の知識階層から意
味常識和と深い知識との関係を追求する。

<14:20~14:40> 休憩

<14:40~16:00>

◇LSIアーキテクチャ設計用CADシステムにおけるユーザインタフェースの検討

竹沢 寿幸(早稲田大学情報科学研究センター), 白井 克彦
(早稲田大学理工学部)
回路のデータパス系をユーザにわかりやすく表示するツールを中心に報告し,
より柔軟なインタラクションのあり方について検討する。

◇地図データベースシステムにおける検索インタフェースについて

岡崎 彰夫, 下辻 成佳, 恒川 尚(東芝・総合研究所情報システム研究所)
本報告では, 地図データベースシステムにおけるスケッチ画などの検索イン
タフェースについて述べる。

◎知識ベースシステム研究会(SIG-KBS)

<主査:上野晴樹, 幹事:小山照夫, 原田 実, 溝口理一郎>

日 時 1989年6月7日(水)9時30分~17時

場 所 森永プラザビル23F会議室(東京・田町)

〒108 東京都港区芝5-33-1 Tel 03-451-6967

《添付の案内図参照》

《プログラム》

<9:30~10:25> コネクショニストモデルを用いた知識ベースシステム

萩原 馨(ソニー・総合研究所)
コネクショニストモデルを知識ベースシステムに用いて, 文脈に依存した複
数のオブジェクトの並列検索, 対ノイズ性を実現する。

- <10:25~11:20> 可能性と必然性の関係を用いた故障診断対象の知識表現方法の強化とその推論手法
 ○武藤 昭一(東京電力), 関根 泰次(東京大学)
 診断対象を, 可能性, 必然性の様相を用いて表現する手法, および表現された知識を種々に解釈し診断する推論手法について論じる.
- <11:20~12:15> ITSのための認知モデル—問題理解と問題解決—
 平島 宗, 中村 祐一, 池田 満, 溝口理一郎, 豊田 順一
 (大阪大学産業科学研究所)
 次世代 ITS を指向した人間の問題解決課程の認知モデルを提案し, さらにそのモデルを反映した教育戦略について述べる.
- <12:15~13:10> 昼休み
- <13:10~14:05> プログラム理解とその応用
 上野 晴樹(東京電機大学理工学部)
 手続き型プログラムをアルゴリズムの知識を使って理解する方法と, 初心者向けの知的プログラム環境への応用について述べる.
- <14:05~15:00> 文脈理解とイメージ的知識
 野田 庸男, 平埴 芳隆, 高木 朗(CSK)
 イメージ的知識(非言語的データ)の利用によって, 記号的知識表現がもつ言語処理に関する困難の軽減を図る.
- <15:00~15:10> 休憩
- <15:10~16:05> 情景再構成としての文章理解
 西田 豊明, 山田 駕, 網谷 勝俊, 星野 泰一, 堂下 修司(京都大学工学部)
 文章理解とは文章に描かれた情景を再構成する過程であるという観点に基づいて構築したプログラムとその評価について述べる.
- <16:05~17:00> イソップワールド: 思考行動過程に基づく物語の構造表現と文章要約
 岡田 直之(九州工業大学情報工学部), 滑 純子(大分大学工学部)
 イソップ物語を素材として主人公の思考行動過程を考察し, 問題解決手法によって物語の構造をネットワークで表現するとともにネットワークに沿って生成した文章を要約する一つの方法を提案する.

《次回研究会の発表募集のお知らせ》

下記のとおり, 10月に研究会を開催しますので, 研究・開発成果の発表を募集いたします。発表時間は約40分, 研究会資料として提出していただいた原稿(A4用紙10枚以内)をB5サイズに縮小し, オフセット印刷いたします。

◇研究会開催予定

<10月度人工知能基礎論研究会>

・日時/場所: 1989年10月上旬(日時未定)/札幌(会場未定)

・発表申込み期限：1989年7月10日(金)までに必着のこと
<10月度ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>

・日時/場所：1989年10月(日時未定)/東京(会場未定)

・発表申込み期限：1989年7月10日(金)までに必着のこと
<10月度知識ベースシステム研究会>

・テーマ：“知的ソフトウェア開発”および一般テーマ

・日時/場所：1989年10月(日時未定)/東京(会場未定)

・発表申込み期限：1989年7月10日(金)までに必着のこと

◇発表申込み方法 A4用紙に、①申込みの研究会名、②発表論文題目、③著者とその所属(発表者に○を付記)、④60字以内(厳守)の簡単な内容[会誌会告欄のプログラムに掲載]、⑤著者1名の連絡先(所属、所在地、Tel)を記載し、下記宛に送付(ファックスも可)

◇発表申込み先 〒151 東京都渋谷区上原1-32-19 三善コーポ 201号室
人工知能学会研究会係 Tel 03-485-6641 Fax 03-485-6642

〈1989年度登録のお知らせ〉

1989年度研究会の登録をご希望の方は、下記のとおりお申し込み下さい。

登録資格：個人会員および特殊購読会員(ただし、賛助会員所属の方にも便宜をはかりますので、お申し出下さい)

登録申込み：ブルーページ末尾に掲載の申込用紙に氏名、会員番号、申込み研究会名を記入の上、事務局宛に郵送またはファックス送りして下さい。なお、関心ある分野については、現在手掛けておられる分野、興味をお持ちの分野など、適宜ご記入下さい(分野名については、会誌Vol.4, No.2ブルーページ掲載の分野表をご参照下さい)。

登録料：人工知能基礎論研究会	3,000円/年
ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会	3,000円/年
知識ベースシステム研究会	3,500円/年

登録料払込み：会誌末尾に挟み込みの郵便振替口座払込用紙に、氏名、会員番号、申込み研究会名を記入の上、所定金額を払込み下さい。

資料の受渡し：研究会にご出席の方は、当日受付でお受け取り下さい。ご欠席の方は、後日郵送します(送付先は会誌と同じ)。

● 学術研究集会のお知らせ(本学会協賛・後援) ●

[知的コミュニケーションと符号化] ワークショップ

主催：電子情報通信学会・基礎境界グループ

期日：1989年6月2日(金)10時~17時

会場：機械振興会館地下2階ホール(東京・芝公園)

問合せ先：〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学部電気工学科(相澤清晴)

Tel 03-812-2111 (6721) Fax 03-818-5706

セミナー「ニューラル／ファジー応用の可能性を探る」

主催：システム制御情報学会

期日：1989年<東京> 6月5日(月)～6日(火)

<大阪> 6月13日(火)～14日(水)

会場：<東京> ダイヤモンド社10階ホール(東京・霞が関)

<大阪> なにわ会館(大阪・天王寺)

問合せ先：〒606 京都市左京区吉田河原町14 近畿地方発明センタービル内

システム制御情報学会 Tel 075-751-6413 Fax 075-751-6037

講習会「生体システムに学ぶ—生体機能から自律分散へ—」

主催：計測自動制御学会関西支部

期日：1989年6月13日(火)9時10分～16時30分

会場：なにわ会館4階“金剛の間”(大阪・天王寺)

問合せ先：〒577 東大阪市小若江3-4-1

近畿大学工学部経営工学科 松井伸之(講習会庶務)

Tel 06-721-2332 (4655), 06-721-4575 (30)

Computer Graphics Osaka '89[明日の産業と豊かな環境を統合する知的 Computer Graphics]

主催：日本能率協会

期日：1989年6月14日(水)～17日(土)

会場：<シンポジウム> マイドームおおさか, 大阪商工会議所, 大阪コクサイホテル,

<展示会> マイドームおおさか

問合せ先：〒541 大阪市東区安土町2-30 大阪国際ビル

日本能率協会関西事業本部内事務局 Tel 06-261-7151

The Logic Programming Conference '89

主催：新世代コンピュータ技術開発機構

期日：1989年7月12日(水)～14日(金)

会場：カンダパンセ・パンセホール(東京・水道橋)

発表応募：1989年4月21日(金)締切り

問合せ先：〒108 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル21階

新世代コンピュータ技術開発機構 LPG '89事務局(上田和紀)

Tel 03-456-2514 Fax 03-455-4877

「知的システム構築の実践と将来」シンポジウム

主催：計測自動制御学会関西支部

期日：1989年9月21日(木)～22日(金)

会場：三田出版会・大会議室(大阪・梅田センタービル)

問合せ先：〒505 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学工学部電気工学科(渡辺博巳) Tel 06-605-2686

第32回自動制御連合講演会

主催：計測自動制御学会

期 日：1989年10月4日(水)～6日(金)
会 場：電気通信大学(東京・調布)
問合せ先：〒113 東京都文京区本郷1-35-28-303
計測自動制御学会 Tel 03-814-4121 Fax 03-814-4699

宇宙用人工知能／ロボット／オートメーションシンポジウム(SAIRAS)

共 催：日本航空宇宙学会，人工知能学会，日本ロボット学会
航空宇宙技術研究所，(依頼中)宇宙開発事業団，宇宙科学研究所
期 日：1989年10月18日(水)～19日(木)
会 場：機械振興会館(東京・芝公園)
講演締切：1989年4月28日(金)
問合せ先：〒229 相模原市由野台3-1-1 宇宙科学研究所
SAIRAS実行委員会事務局(中谷一郎)
Tel 0427-51-3988 Fax 0427-59-4251

第1回演繹・オブジェクト指向データベース国際会議(The First International Conference on Deductive and Object-Oriented Database ; DOOD 89)

主 催：情報処理学会／京都高度技術研究所
期 日：1989年12月4日(月)～6日(水)
会 場：京都リサーチパーク・サイエンスセンタービル内会議場
論文締切：1989年5月1日(月)
問合せ先：〒600 京都市下京区中堂寺南町17 京都リサーチパーク・サイエンスセンタービル
(株)サイエンスセンター・インターナショナル(SCI)宮崎郁子
Tel 075-322-7888 Fax 075-322-5348

原子力におけるスーパーコンピューティング国際会議

主 催：日本原子力研究所
期 日：1990年3月12日(月)～16日(金)
会 場：水戸プラザホテル(茨城・水戸)
発表応募：1989年10月31日(火)締切り
問合せ先：〒309-11 茨城県那珂郡東海村白方2-4
日本原子力研究所計算センター 業務係 Tel 0292-82-5931

創立30周年記念国際会議

主 催：情報処理学会
期 日：1990年10月1日(月)
会 場：京王プラザホテル(東京・新宿)
論文応募：1990年2月1日(木)締切り
問合せ先：〒105 東京都港区芝麻布台2-4-2 保科ビル3F
情報処理学会・InfoJapan '90事務局 Tel 03-505-0505 Fax 03-584-7925

● 学会からのお知らせ ●

下記のとおり 1989 年度第 4 回通常総会を開催いたします。

◇第 4 回通常総会

日 時 6 月 23 日 (金) 15 時～19 時

場 所 青学会館 (東京・青山) 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 Tel 03-409-8181

《地下鉄銀座線, 千代田線, 半蔵門線・表参道駅下車, B1 出口, 徒歩 5 分》

プログラム 15 時～16 時 特別講演

「高次コミュニケーション」 野口正一氏 (東北大)

16 時～17 時 通常総会

17 時～19 時 懇親会

● 教官・教員募集 ●

《岐阜大学》

職 名 電子情報工学科情報コース教授 1 名

専門分野 人工知能, 知識工学, 自然言語処理, 画像認識, 音声情報処理, 生体情報工学, 認知工学, 知的 CAI, 情報機器などの何れかの分野

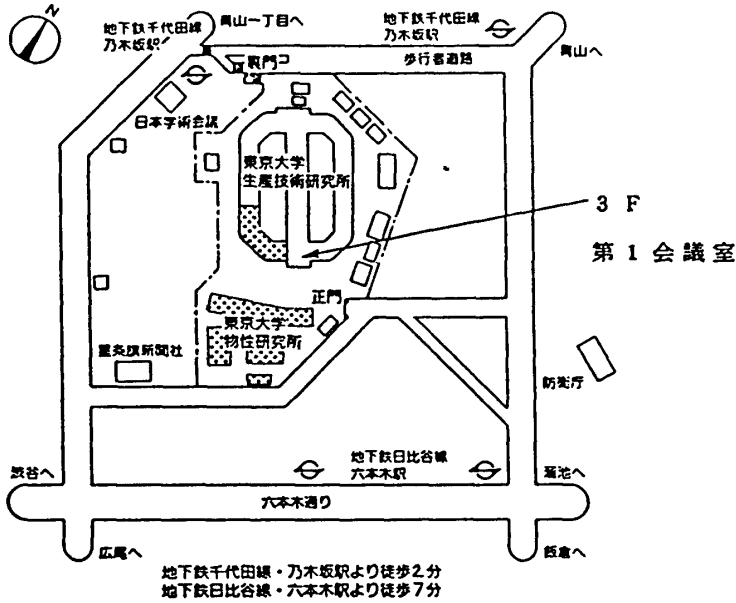
応募資格 博士の学位を有し, 学部および大学院の教育と研究指導が可能な方 (40 歳以上が望ましい)

着任時期 1989 年 10 月 1 日まで

応募締切 1989 年 5 月 25 日

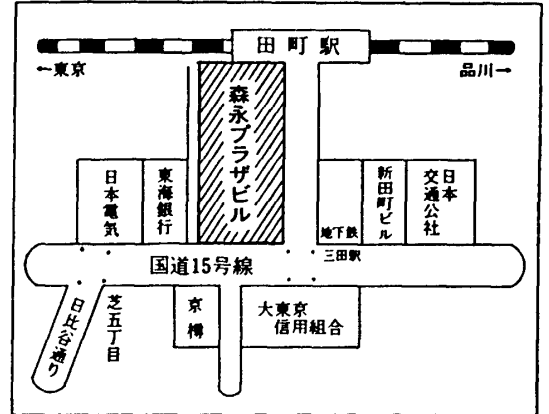
問合せ先 情報コース設立委員会副委員長・後藤宗弘

Tel 0582-30-1111 (4550)



森永プラザビル

23F 貸会議室

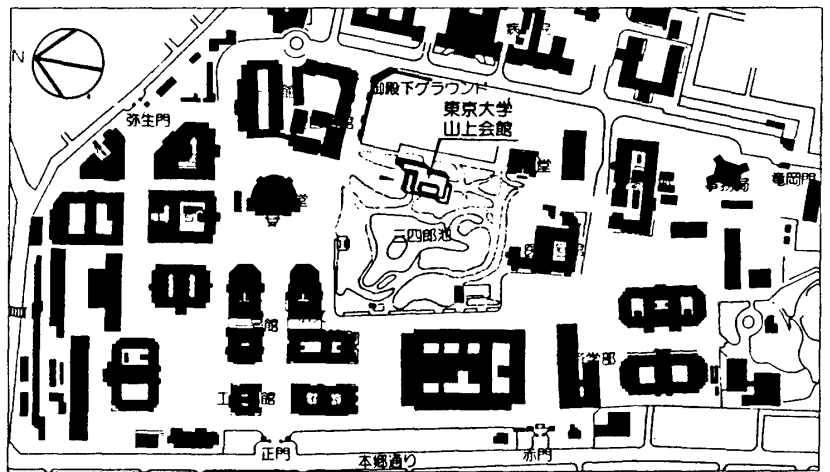


東京大学 生産技術研究所

〒106 東京都港区六本木7-22-1

電話 (03)402-6231

山上会館位置図(本郷構内)



東京大学への経路

地下鉄：丸の内線「本郷三丁目」下車
 千代田線「湯島」、「根津」下車

バス：「東大正門前」、「東大赤門前」、
 「湯島四丁目」下車

スクールバス：御茶ノ水、上野各駅より
 「東大病院前」下車

きりとせせん

1989年 月 日

研究会登録申込用紙

No. _____

氏名	会員番号	
登録研究会	1. 人工知能基礎論研究会 2. ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会 3. 知識ベースシステム研究会	(ご希望の研究会に○印をつけて下さい)
所属団体名		Tel.
関心ある分野		
備考欄		

(研究会資料の送付先は、会誌送付先と同じになりますので、ご了承ください)